

カット 三留正子

かなざきひさを応援する会・会報 70号 事務局 上山口 1878 番地の 9 Tel&Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425

E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakihi/> facebook.com 金崎ひさ

葉山町議会第 3 回定例会 (9月9日~10月13日) 開催

○ **学校給食センター** 上山口旧校舎から葉山中学校駐車場に設置場所が変更されました。

造成費用に 2 億 3,300 万円

高額な費用をかけてまで、町有地にこだわる理由は何？

市街化調整区域に 3,000 m²の土地の借地か購入かができる金額と思うが？

検討するよう申し入れました。

(大井町では 1 億 5,000 万円で土地を購入し建設しました)

設置費用の試算 総額 14 億 450 万円

造成費用	2 億 3,300 万円
建設等にかかる費用	8 億 7,000 万円
下水道接続工事	5,250 万円
排水にかかる費用	4,900 万円
各小中学校の整備等	2 億円



- 参考**
- ・小学校の自校方式を継続するための給食室建て替え費用 10 億円
 - ・中学校 2 校に給食室を設置するための費用 3 億円
 - ・小学校 4 校の現在の給食の食べ残し 1 年間に 8 トン
 - ・アンケートによると子供たちのほとんどが中学校給食を望んでいない
 - ・センター方式での給食の食べ残しを無くすための工夫が必要！

○ 平成 27 年度決算 認定

29 年度に向けて改正すべき事項

- ・自転車愛好家の導入を勧めているが、その前に安全な道路整備に努めるべき
- ・国民健康保険被保険者の現状把握と対策
- ・空き家の利活用の推進
- ・海岸の電柱撤去
- ・スポーツ等の施設整備
- ・松くい虫対策
- ・下水道整備方針を明確に 等

議会の意見として町長に申し入れました。

○ かなざきひさの一般質問

(1) 空き家の利活用について まちづくりの一環としての町長の考えを伺おうと思いましたが、結果、何の考えもないことが判りました。

質問	答弁
大きな保養所等の敷地が細分化され、開発されている現状の中、町として福祉的活用ができる空き家があるのではないか。	使える空き家は一軒家がほとんどで、多くの人が集えるような場としては難しい。 (町長)
26年5月に町民から神奈川県経営者福祉振興財団の葉山研修センターの福祉的利用の要望書が出ているはずだが。	今年7月に財団から打診があったが断った。 (政策財政部長)
町民からの要望を真剣に考えていなかったのか。	葉山には素晴らしい元別荘とかが沢山あるが、それをその地域だけの要望で手に入れるのは無理である。(町長)
かなざきひさの考え 固定資産税免除等の話し合いによって活用させていただいている自治体もあります。町の代表としてそのような折衝をするのが町長の仕事だと思いますがあまりにも情けない答弁でした。この先、次々と保養所・別荘等が取り壊されていくのを町として何もしないで見ていただけなのではないでしょうか。	

(2) ごみの不法投棄について 資源ステーションと海水浴客等による海岸への放置ごみ対策について質問しました。

質問	答弁
資源ステーションへの不法投棄対策は。	排出ルールと適合していないごみが出されているので、町内会・自治会と情報共有しながら協働の取り組みを継続していく。 (町長)
戸別収集品目を資源ステーションに出しても永久に収集日はない。見かねた近隣の人が持ち帰りルールに合わせて排出している現状がある。町としては何をするのか。	看板やチラシを工夫して広報に努める。 (環境部長)
マナーの悪い資源ステーションに職員が立って指導してはいかがか。	クリーンセンター職員からもそのような提案があるので、実のある状況につなげたい。 (環境部長)
海水浴客等の放置ごみの状況は。	例年より若干多かった。 (町長)
その対策は。	海岸周辺の資源ステーションへ放置されているごみは週2回委託により回収処理を行った。 (町長)
今年度はマナーアップ推進員がごみ指導をするために120万円増額をした。その効果は。	一色で7件指導した。 (都市経済部長)
依然町内へごみは流出しており、町民に迷惑をかけている。来年に向けての方策は。	マナーアップ推進員にごみを主軸に置くような取り組みをしたい。 (町長)
かなざきひさの考え 逗子市は海岸にごみ箱を設置し、毎日業者に収集委託し市内にごみを放置させないような取り組みをしています。町としてしっかりとした対策を講じるよう強く求めました。	

(3) 交通問題について 京急バスが町民の足である現状を踏まえ、その折衝状況を伺いました。

質問	答弁
はやまステーションへのバス導入を町長は望んでいるのか。	当然必要だと思っている。 (町長)
そうであれば覚悟を持って京急バスと折衝をして問題点を解決する方法を見出すべきである。	近々、打診をしてみたいと思う。 (町長)
海岸から福祉文化会館への休日運行の折衝経過は。	車両や人員等の関係で他路線への影響が出ないよう慎重に協議する。 (町長)
他路線への影響があるというのは京急バスから言われたのか。	京急バスからはっきりと言われたわけではない。 (政策財政部長)
町の文化公演等も休日開催で入場者が少ないのは交通の便の悪さが影響しているように思うが、真剣に取り組む気はないのか。	臨時便等、何らかの形で運行できないか京急バスに確認をしていきたい。 (政策財政部長)
かなざきひさの考え 真剣さが足りなければ相手を説得することは不可能です。町として町民の意向を実現するため折衝することは町長に課せられた重要な仕事と考えます。努力してもらいたいものです。	

(4) 障害者にとって終の棲家とは、という質問に町長はその意味が理解できない様子でした。認識を持っていただくために今後折に触れて発言をしていかなければならないと真剣に思いました。